## 静岡市清水区感染症発生動向

		2018年		35 週		集計期間			8/27-9/2						
	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症 咽頭結膜熱 溶連菌感染症	2	2	18 1	14 2	2		1	1							39 4
感染性胃腸炎 水痘	4	1	7	6	6	2	3	5	5	3	;	3 7			52
手足口病 伝染性紅斑 突発性発疹		2	1			1		1							1 2 2
百日咳 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎		2					1	1				ו ו			2 4
麻疹 風疹 ————															
マイコプラズマ 髄膜炎 MCLS															
小児科Flu												1			1
			小	児科定	点総数	107	増減	<sup>咸</sup> 15	前泊	週比	116	.3%定	点当たり	17.8	
		病院:開業医 4:103 増減 -1:+16													
——— 内科Flu															

総数107、前週の116.3%と、増加です。

インフルエンザ総数 1

首位は、感染性胃腸炎、前週比126%、定点当たり8.6と、この疾患としては少数です。 2位は、RSウイルス感染症、前週比134%、定点当たり6.5と、さらに増加です。 以下は、定点当たり1未満ですが、

增減 1

前週比

小児科:内科 1.0

?% 定点当たり .1

增減 +1:0

3位は、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎が、4名づつで、同数です。 残りは、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、突発性発疹2名づつ、 手足口病が1名報告と続きます。

驚いた事に、インフルエンザ1名、報告です。 瀬名の私立T中学の野球部の14歳で、8/31、受診、典型的な症状のA型です。 9/3にも、同じ野球部で、感染者が確認されていますので、集団で発生です。

9/2、小児科休日当番は、来院数51名、RS8名、そのうち、生後1Mのbabyと、酸素飽和度が92-3%だった1歳の2名、2次救急にお願いし、お手数をおかけしました。他は、胃腸炎は無く、アデノ3名(ただし1家族)のみでした。